

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	人間健康特講Ⅳ		
担当者(Instructors)	石渡 靖之	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>「チームマネジメントⅡ」スポーツ指導者が異なる状況の中で様々な要因を分析・整理した上でチームの組織運営をどのように進めていくべきかを中心に学ぶ授業である。まず、スポーツ指導者に必要な基礎的な知識や理論の修得を目指す。また科学的及び理論的な視点で選手指導やチームづくりを行うための資質・能力及び態度を養い、近い将来のスポーツ指導者として現場で必要となる力を身につける。さらにスポーツ指導の場面に限らず、人と関わる社会生活の様々な場面で役立つ対応について学ぶ授業である。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式を中心とするが、テーマ等に応じてグループワーク等を交え、他の学生と意見交換等を行いながら、自己の考えを整理し、結論を導き出すような授業を展開する。毎回の授業に関するプリントを投稿し、次回の授業までに提出を課す。また、その他に5回の課題レポートの提出を期限を設けて課す。授業資料等に関する質問は授業時、授業プリント及び課題レポートについては、メール、chat等により個別に受け、学生自らの考えを整理し、まとめた上で課題を提出してもらう。採点后フィードバックする。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本授業の内容と到達目標の確認。評価について指導者(リーダー)の言葉	<input type="checkbox"/>
第2回	体育教師とコーチ	「ティーチング」と「コーチング」について コーチングの実践と課題について	<input type="checkbox"/>
第3回	スポーツ活動と栄養	競技力向上のための栄養摂取について 「日々の継続が選手を変え、チームを変える。」ことについて	<input type="checkbox"/>
第4回	メンタルトレーニング	「メンタルトレーニング」とは 大事な場面で持てる力を発揮するためにやるべきことについて(スポーツに限らず)	<input type="checkbox"/>
第5回	チーム運営の理論と実際(1)	スポーツ事故における法規、指導者の責任や安全対策について 選手育成のための指導者の視点	<input type="checkbox"/>
第6回	チーム運営の理論と実際(2)	「セクシャルハラスメント」と「パワーハラスメント」について 様々なケースにおける対応と考察	<input type="checkbox"/>
第7回	運動部活動の意義と課題	運動部活動の現状について 運動部活動の課題(いじめ、体罰、部活動ガイドラインなど)	<input type="checkbox"/>
第8回	スポーツと勝利至上主義	スポーツの一つの価値として「勝利」があるが、一方、スポーツの価値を貶めるものとしての「勝利至上主義」という問題点についての考察	<input type="checkbox"/>
第9回	学校体育と社会体育	今後の学校体育の方向性 社会体育(クラブ)の利点と課題	<input type="checkbox"/>
第10回	総合型地域スポーツクラブ(1)	地域社会とスポーツ、法人化の財源(NPO法人など) 総合型地域スポーツクラブの地域への貢献と地域活性化について	<input type="checkbox"/>
第11回	総合型地域スポーツクラブ(2)	スポーツクラブの運営と事業及び課題 スポーツビジネスの現状と今後について	<input type="checkbox"/>
第12回	スポーツにおける今日的課題(1)	スポーツにおける暴力問題 スポーツとジェンダー	<input type="checkbox"/>
第13回	スポーツにおける今日的課題(2)	インクルーシブ教育(共生社会の実現に向けたスポーツの果たす役割) 障がい者スポーツについて	<input type="checkbox"/>

第14回	スポーツにおける今日の課題（3）	アンチドーピング 喫緊のスポーツ課題	<input type="checkbox"/>
第15回	授業のまとめ	スポーツマンシップとフェアプレイの指導について 「信頼される指導者」についての考察	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習については、次回予告で示す内容について調べ学習をしてもらう（毎回1～2時間程度）。事後学習としては毎回の授業内容を確認する授業プリントの提出を課す。（1回分2時間程度 計15回）原則として、授業終了後3日以内の提出を期限とする。期限を過ぎて提出された授業プリントも事前に示した最終提出期限内であれば評価は行うが、期限内に提出されたプリントとは評価で若干差をつける。詳細は、第1回授業の資料内で示す。また授業プリントとは別に5回の課題レポートの提出を課す。この課題レポートは数回分の授業内容を網羅した課題となるので、提出期限は2週間を予定している。課題レポートの作成及び提出期限についても、第1回授業内の資料で示す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各授業資料や課題に関する質問は授業時またはメール、chatで受け付ける。提出された毎回の授業プリント及び課題レポートについても提出後順次採点し、コメント等を交えフィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019人間健康DP1	スポーツ指導者として必要な知識・技能を駆使して、状況に応じた的確な分析を行うことができる。 授業課題への取り組み等を通じて、思考力・判断力・表現力の育成を目指すとともに、選手やチームメンバーに対する的確な指導助言ができる。
主体性	◆ 2019人間健康DP3	様々な状況下において、チームをより良い方向に導くための問題解決能力及び多様な価値観を認め、指導者（リーダー）として望ましい態度での確な対応が取れる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の授業プリント（15回）、課題レポート（5回）で評価する。提出期限内に提出すること。
テストは行わない。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	笹竹英穂（著）「選手の心を動かすパワーワード」：大修館書店	978-4-469-26901-7
2	杉浦克己（著）「スポーツ栄養学がわかる パフォーマンス向上から健康維持まで」：大修館書店	978-4-469-26920-8
3	友添秀則・岡出美則（編著）「教養としての体育原理」：大修館書店	978-4-469-26797-6
4	高橋健夫他（編著）「基礎から学ぶスポーツ概論」：大修館書店	978-4-469-36542-9
5	三村寛一（編著）「スポーツ指導者のためのスポーツと法」：嵯峨野書院	978-4-7823-0514-0